

「知ってる？^{は ら かん が い せき}幡羅官衙遺跡」



No. 3 郡役所のクラ（その1）

古代の税は^{とうこく}稲穀や布、地域の特産品などがありましたが、このうち稲穀のほとんどは、現地の郡役所に建てられたクラに収納されました。それぞれの郡役所に何棟も集中して建てられたクラは、公的なクラとして正倉と呼ばれました。幡羅官衙遺跡では東西約200mにも及ぶ敷地が溝で区画され、今のところ一部しか調査されていませんが、20棟以上のクラが建ち並んでいたとみられます。なお、正倉が建ち並ぶ区画された敷地全体を、正倉院と呼びます。

1年程度の短期保存用のクラもありますが、大部分は長期保存用の高床式倉庫でした。高床式倉庫は、鼠などの害や湿気を防ぐのに効果的なものです。この中に、脱穀された稲穀がバラ積みされたとされます。つまり、正倉の高床式倉庫は大きな^{こくびつ}穀櫃でした。

写真は、道の駅おかべの西側、中宿歴史公園内に復元された榛沢郡役所の正倉です。気になる方はチェックして下さい。



今回は
『郡役所のクラ（その2）』
です。お楽しみに！